

# 複合素材の分離装置を開発

辰巳エヤーエンジニアリング

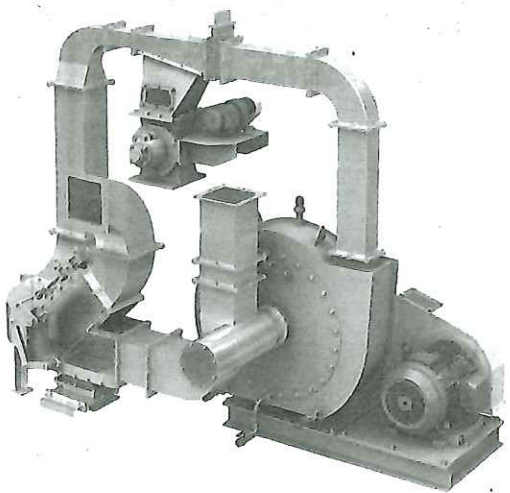
捨てるを、「分けて使える」に

産業機器の設計・施工を手掛ける辰巳エヤーエンジニアリング（大阪府東大阪市、野田耕平社長、072・962・9100）は、複合素材の分離回収装置「IMPACT BLOWER」を開発した。タイヤカーペットや自動車の内装材の端材など、繊維と樹脂が複合的に組み合わさった素材をダクト内部で比重差を用いて分離。個別に回収する。素材を単一化するためリサイクルに有効な装置として、産廃事業者や自動車メーカーなどに提案を進めている。

同機の処理の流れは、はじめに破碎された処理物を投入口に入れる。高圧ファンのケージング部分で複合素材を分解。空気を循環

させたダクト内部で比重。バッチ式のため、重差により分離させて個々に回収する。1分当たりの風量は30立方

をサポートする。強みは、自動車の内装材の端材処理といった細やかなニーズに対応できたことだ。同社はこれまで、空気を媒体とした産業機器の開発で実績を重ねており、設計から施工まで一貫して対応可能。他にも、PETボトルや紙おむつのSAP（高分子吸収剤）、フィルムのリサイクル装置などを開発してきた。同社第2設計技術部の柿原義行氏は、「捨てるしかなかったものを資源にリサイクルできれば、顧客や地球環境保全の力になれる。今後も顧客の細かいニーズに応じていければ」と話した。



インパクトブロー

## 週刊 循環経済新聞

JUNKAN KEIZAI The Recycling Economy Times

4月25日 No.1582

2022年(令和4年)

週刊 月曜発行

発行人 河村 勝志

平成元年9月22日 第3種郵便物承認

購読料 年間 22,900円+税  
(定価) 1部本体 495円+税